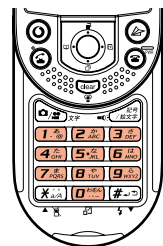
電話をかける

1 アンテナを伸ばす

「カチッ」と音がして止まるまで引き出してください。

2 本体を開いて電源が入っていることを確認し、電話番号を入力する

●一般電話
　必ず市外局番から入力します。
●携帯電話・自動車電話・PHS
　0から始まる全桁の番号を入力します。

- 電話番号は24桁まで入力できます。

3 電話番号を確認し、を押す

▶相手につながると通話できます。

- 相手が電話に出たことをバイブレータの振動で知ることができます(☞13-9ページ)。
- を押してから相手の電話番号を入力しても電話をかけられます。
- を押してからメモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴などを検索すると、一定時間後表示している相手に電話がかかります。

4 通話が終わったらを押す

▶通話が切れ、待受画面に戻ります。

- アンテナを縮めるときは、アンテナの下の方を持って収納してください。上の方を持って無理に押し込むと破損の原因になります。

- 通話中、本体が温かくなることがありますが、故障ではありません。
- アンテナに触れると、無線感度は弱まる特性を持っています。ご使用の際は、できるだけアンテナに触れないようご注意ください。
- ダイヤル発信禁止(☞12-5ページ)が設定されていると、ダイヤルボタンでの発信はできません。また、オフラインモード(☞3-5ページ)が設定されているときは、発信が一切できません。設定を解除してください。

本体を閉じたままでも、メモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴から電話をかけることができます。

■電話番号を押し間違えたら

●1文字ずつ消去する場合

clearを短く押すごとに、右端から1文字ずつ消えていきます。

●カーソルで選択した数字を消去する場合

を押すとカーソルが現れます。消去したい数字までカーソルを移動してclearを押すと、カーソル上の数字が消えます。

●全部消去する場合

clearを長く(約1秒以上)押すと、入力中の数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

■相手が話し中の場合は

「プープープー」という話中音が聞こえます。を押して、しばらく待ってからかけ直してください。リダイヤルを使うと便利です(☞次ページ)。

■ご自分の電話番号を相手に通知するには

ご自分の電話番号を、相手の電話機のディスプレイに表示させる／させないことができます(☞14-13ページ)。

■国際電話を利用するには

V401SAから、国際電話サービスがご利用になれます。詳しくはサービスガイドブックをご覧ください。

■ 以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前にかけた電話番号を新しいものから最大30件まで確認できます。かけ直したい相手の電話番号を選択して、☎を押すと電話がかかります。

1 ◯を押す

▶ 以前にかけた電話番号が新しいものから順に表示されます。

2 ◯でかけたい相手の電話番号を選択する

- ●（**詳細**）を押すと、詳細画面が表示されます。
- リダイヤルの電話番号が登録されているメモリダイヤルを確認するときは、確認するリダイヤルを選択して✉（**メニュー**）を押し、「メモリダイヤル検索」を選択します。

3 電話番号を確認して☎を押す

▶ 相手につながると通話できます。

注意

- ダイヤル発信禁止（☞12-5ページ）が設定されていると、リダイヤルでの発信はできません。設定を解除してください。
- 30件を超えた場合は、一番古いリダイヤルから順に消去されます。

補足

- リダイヤルの内容は、電源を切っても記憶されています。
- リダイヤルと同じ電話番号に電話をかけた場合、時刻のみ更新されます。
- メモリダイヤルに電話番号と名前が登録されていると、名前が表示されます。シークレットメモリの名前はシークレットモード（☞12-10ページ）以外では表示されません。
- メモリ使用禁止を設定しているときは、メモリダイヤルに名前が登録されていても電話番号が表示されます。
- リダイヤルを消去するときは、消去するリダイヤルを選択し、✉（**メニュー**）を押します。「消去」を選択して●（**OK**）を押し、消去方法を選択します。
  「1件消去」：選択したリダイヤルを消去します。
  「選択消去」：リダイヤルを複数選択して消去します。
  「全件消去」：すべてのリダイヤルを消去します。

■ リダイヤルの電話番号をメモリダイヤルに登録するには

呼び出したリダイヤルをメモリダイヤルに登録できます（☞5-13ページ）。